



健康推進課

☎ 24-0816 ☎ 24-5870

✉ kenko@ma.city.hikone.shiga.jp

おトクにがん検診を受けられる人へ
受診期限が迫っています

①子宮頸がん検診【HP番号:2908】

対 無料クーポン券が届いている人で以下の期間に生まれた人
平成12年4月2日～平成13年4月1日

②乳がん検診【HP番号:2907】

対 無料クーポン券が届いている人で以下の期間に生まれた人
昭和55年4月2日～昭和56年4月1日

<①②共通事項>

場 県内の指定医療機関

申 直接医療機関へ予約(予約不要な医療機関もあります)

③胃がん検診【HP番号:13731】

対 令和4年3月31日時点で50歳以上で偶数年齢の人

¥ 4,000円

場 彦根市立病院・友仁山崎病院・豊郷病院

申 2月28日(月)までに健康推進課へ電話・FAXのいずれか

※いずれも受診期限は3月31日まで

※無料クーポン券が届いていない人も子宮頸がん・乳がん検診を2年に1回、各500円で受診できます。

※症状があるなど検診が受けられない場合もあります。詳しくは彦根市ホームページをご覧ください。

高齢者肺炎球菌感染症の予防接種

令和3年度対象者の接種期限は令和4年3月31日まで!

令和元年度から同5年度までに、要件を満たす人は、1人1回定期接種の機会があります。令和3年度の対象者は、次のとおりです。

対 今までに一度も23価肺炎球菌ワクチンを接種したことがなく、次の①②いずれかに当てはまる人

①下表の生年月日の人

②60歳以上65歳未満で、心臓、腎臓、呼吸器の機能に障害がある人またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能に障害を有する人

▶対象者には、昨年4月に予診票を郵送しています。

▶接種期限を過ぎると自費での接種になります。

▶予防接種の実施日は医療機関によって異なりますので、早めに予約してください。

▶予診票は医療機関にはありません。予診票を紛失した人や転入してきた人は、健康推進課にご連絡ください。

年齢	対象者の生年月日
65歳	昭和31年4月2日～昭和32年4月1日生
70歳	昭和26年4月2日～昭和27年4月1日生
75歳	昭和21年4月2日～昭和22年4月1日生
80歳	昭和16年4月2日～昭和17年4月1日生
85歳	昭和11年4月2日～昭和12年4月1日生
90歳	昭和6年4月2日～昭和7年4月1日生
95歳	大正15年4月2日～昭和2年4月1日生
100歳	大正10年4月2日～大正11年4月1日生

2月4日～10日

滋賀県がんと向き合う週間

長年の研究により、がんになるリスクを高める要因が明らかになってきました。がんの原因の多くは、日常生活習慣に関わるものであることが分かっています。

【がんを防ぐ5つの習慣】

①禁煙する②節酒する③バランスよく食べる④体を動かす⑤適正体重を維持する

定期的ながん検診を受診することで、がんを早期発見し、早期治療に繋げることができます。彦根市のがん検診情報は、彦根市ホームページをご覧ください。

【HP番号:16242】

風しんの抗体検査

次の対象の人は、令和元年度から同3年度までの間、1人1回抗体検査を無料で受けられます。

対 昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれで抗体検査を受けたことがない人

接種期限 2月28日(月)

▶詳しくは、昨年4月に送付したクーポン券をご確認ください。

▶クーポン券を紛失した人や転入してきた人は、健康推進課にご連絡ください。

栄養相談

離乳食や幼児食の進め方のポイントについてアドバイスします。

☎ 2月18日(金)、3月18日(金) いずれも9:00～、10:30～ (予約制、各1人)

場 くすのきセンター(八坂町)

第32回

ブラジルへ
ようこそ!



自分の居場所を

彦根市には、仕事や留学などで多くの外国人が暮らしています。仕事で来ている人の中には、小さい子どもと一緒に家族で住んでいる人もいます。私の両親は日本で働いていたので、私は日本で生まれ、ブラジルに行く7歳まで日本で育ちました。両親は家ではポルトガル語を話していたため、日本に住んでいた時は、私は日本語がほとんど話せませんでした。だから、保育園や小学校では、上手く日本語でコミュニケーションが取れなかったし、ブラジルでも日本人ばかり見えるという理由で、初めは周りとうまくなじみませんでした。今ではブラジルも日本どちらも大好きですが、小さい頃は言語や文化の違いに悩み「私は日本人?ブラジル人?私の居場所はどこ?」といつも不安を感じていたのを覚えています。

でも、それらは、ブラジルで出会った小学校の先生や友人のおかげで少しずつなくなっていきました。先

生や周りの子どもたちは、私が日本から持ってきたおもちゃや本などを通じて日本の文化にとっても興味を持ってくれました。また、友達が家に遊びに来た時、母の作った日本料理を「おいしい!!」と言って食べてくれたことは、今でも思い出すと嬉しくなります。そんな友人たちのおかげで、私は自分のルーツに自信を持てるようになりました。

現在、彦根市には外国人の子どもがたくさん住んでいます。私が小さいときは、周りの人たちが他の国について理解しようとしてくれたり、文化を教えてくれたりすることがとても支えになりました。ぜひ皆さんも外国の文化を理解したり、日本の文化を紹介したりしてください。きっとその子の支えになると思います。彦根はとても素晴らしい町です。国籍を問わず、全ての子どもたちが「自分の居場所はここだ」と感じてもらえることを心から願っています。

【彦根市国際交流員 オカモト・ジュリア・ユリ】



広報ひこね

- ▶彦根市では、点字および音声版広報ひこね(編集版)を発行しています。
- 問 障害福祉課 ☎ 27-9981 ☎ 30-9231
- ▶外国語版(英語、中国語、ポルトガル語)の広報ひこね(編集版)を発行しています。
- 問 人権政策課 ☎ 30-6113 ☎ 24-8577
- ▶廃棄する場合には古紙回収に出してください。
- ▶広報ひこねは53,550部作成し、1部当たりの単価は16円(1円未満切り捨て)です。原稿作成・編集などにかかる職員の人件費は含まれていません。

- 人口と世帯数(12月31日現在)
- 人口:111,807人 (-115)
- 男性:55,685人 (-54)
- 女性:56,122人 (-61)
- 世帯数:49,105世帯 (-41)
- ※()内は前月比



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

< 広告欄 >